

所信表明（２期目）

定例会の開会に当たり、議長より発言のお許しをいただきましたので、議案の提案理由の説明に先立ち、私の市政運営に関します基本的な考え方など所信を申し上げ、議員の皆様並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

私は、先般行われました富里市長選挙において、市民の皆様の温かい御支援と大きな力を賜りまして、引き続き富里市政を担わせていただくことになり、その職務と責任の重さに身の引き締まる思いであります。

１期目の４年間におきましては、市長就任直後の令和元年房総半島台風による災害への復旧に全力を傾け、ようやく復興への見通しが立った時、今もなお続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大であります。職員と共に一丸となり、「市民を守る・富里を守る」という強い思いで、感染対策や各種支援を最重要課題として対応に努めてまいりました。

一方で、コロナが時代を変えようとする中で、富里市を遅れることなく前へと進めるためには、長年に渡る財政難からの脱却が最も重要であったことから、コロナ対策を行いながらも、脱却を目指した歳入改革の断行を決断したものであります。職員には大きな負担を課しましたが、地方債の抑制対策とあわせ、改革に結びつく様々な新規事業に取り組んできた結果、近年にない

回復傾向が示され、財政再建の兆しが見えてきています。

そして2期目は、多くの市民の皆様にご訴えてまいりましたが、1期4年で着手した新規事業において、全ての事業の効果を生み出すことはもとより、まちづくりの根幹を担う制度改革等、布石を投じてきたことを最大限活用し、新たなまちづくりに向け加速することが、歳入改革の実現につながるものと捉えています。

そして昨年、市制20周年を契機に、希望と活力がある元気なまちに発展するよう「とみさと元気なまち宣言」を行いました。その原点こそが市民の元気であります。市民が元気になるためにも、財政が厳しかったことで支援が行き届かなかった、健康・福祉・教育分野等を重点に、子どもから高齢者まで全てのニーズに合わせた行政サービスと、切れ目のない支援の拡充を行うことで、市民の皆様が歳入改革を実感する機会ともなり、改めて、富里に住んで良かったとご満足いただくことこそが、選ばれるまちにつながってまいります。

まさに私の2期目は、成田空港との共存・共創に向けた新たなまちづくりを踏まえ、歳入改革の実現に向けた更なる加速と市民の皆様への支援を拡充することで、ハードとソフトのバランスあるまちづくりへの挑戦の4年間であると強く決意しております。

それでは、今後の市政運営について申し上げます。

まずは、「行政力の強化」についてです。

近年、行政に対する市民ニーズは多様化しており、限られた財源で持続可能で良質な市民サービスの提供を目指していくためには、効率的かつ効果的に行政経営を進めていくことも重要です。

その上で、改めて職員の能力を最大限発揮できる環境整備はもとより、何よりも職員一人ひとりが、常に市民の立場に置き換え「今、市民は何を思い、何を求めているか」など、あらゆる業務において、引き続き市民起点を最重要とするとともに、併せて成果を重視することで、市民に寄り添った効果ある行政経営へとつながるよう、更に取り組を徹底してまいります。

また、歳入改革のより一層の強化においては、特に成田空港の更なる機能強化に合わせ本市では、地区計画制度・県条例改正・地域未来投資促進法と、市街化調整区域の規制緩和策について選択できるメニューがそろったことから、地域との連携により適した制度を活用しながら、計画的な整備促進を図ってまいります。

さらには、関係人口増加策の一翼を担う、末廣別邸公園及び末廣農場においては、岩崎久彌がもたらす歴史の力を十分に発揮することはもとより、更なる施設の充実を図るとともに、定期的な様々なイベントの開催など、近隣市町の類似施設との違いを

打ち出してまいります。そのためにも、指定管理者はもとより、広く市民の皆様の協力を仰ぎ、着地型観光の窓口として、多くの集客が望めるよう取組を強化してまいります。

また近年、行政に対する市民ニーズは多様化している中で、職員自らが心身ともに自己管理を行いながら、迅速かつ丁寧な市民サービスを提供し続けるためには、一人で背負うことなく、ともに気遣う組織であり続ける必要があります。そのためにも、効率的で効果的な日々の業務となるように、職員一人ひとりが創意工夫を重ねながら、新たな取組、新たな姿に挑戦し続ける行政に努めてまいります。

さらにデジタル社会の実現に向け加速される中で、遅れることなく「富里市DX推進計画」を推進することは、重要であるとともに、誰もがデジタルの利便性を享受できる、行政のデジタル・トランスフォーメーションなど、デジタル化やSDGsなど時代の変化を捉えた持続可能な強い行政をつくってまいります。

次に、「福祉が暮らしを守る」についてです。

成田空港に近い富里市は、2000年代以降、人口減少時代の中でも居住する空港従業員や外国人の増加により、人口を5万人前後で維持しています。

その一方で、子どもの数が減り、高齢者が増えている現状への対策が急務となり、市民の住みやすさ向上を主眼に、定住促進に

向け「福祉が暮らしを守る」施策を進めてまいります。

2000年に約7,700人いた14歳以下の子どもは、2023年には約5,000人まで減少し、少子化が進む中でも、家族構成や就労形態の変化に伴い、保育ニーズは年々増加傾向にある一方で、保育園、こども園だけでなく放課後児童クラブに至るまで待機児童が出ています。

これに対し、こども園の開設による定員の拡充、保育園の開設など、受入体制を強化してまいりましたが、保育人材確保の課題が大きく、待機児童の解消には至っていない現状があります。

まずは、保育環境の改善を図るため、人材を確保することが重要だと考えており、その上で、保育料第2子の無償化、小・中学生の段階的な給食費無償化などを検討するなど、子育て世帯の経済的負担の軽減につなげてまいります。

さらに、市民の皆様が安心して子どもを産み育てるためには、結婚・妊娠・出産・子育てに関する不安や負担感を軽減させる環境が重要であることから、婚活から子育て期までの支援の在り方を検討するプロジェクトチームを設置し、切れ目ない支援を地域と協働により推進することで、定住促進及び少子化対策を強化し、健やかに生み育てる環境を作ってまいります。

また、2000年に約5,300人であった65歳以上の市民は、2023年には約1万4,500人に増加し、高齢者人口のうち、75歳未満の前期高齢者の割合は県内でも高いことから、今後、高齢化の進展は、他の自治体以上に加速することが想定さ

れます。

高齢者が住み慣れた地域で、その有する能力に応じて自立した生活が送れるよう支援するためには、まず、介護予防、自立支援、重症化防止の取組が重要となります。

そのために、健康教室をはじめとした通いの場の充実、介護職と医療職などの多職種による連携の強化、ボランティア活動への参加促進などの取組を強化し、高齢者が生きがいを持って元気でいきいきと暮らせる環境の整備を図ってまいります。

さらに、喫緊の課題であります介護施設の整備を促進するなど、ニーズの増加や多様化が想定される介護サービスにおいて、サービス基盤の充実を図るとともに、住み慣れた地域で、健康で活動的に安心して暮らせる環境を作ってまいります。

学校教育においては、教員一人ひとりが創意・工夫しながら、授業、学校行事などに取り組んでおり、今後も、家庭・学校・地域の連携のもと、確かな学力や健全な心と体を育む教育を推進していくことが求められています。そのため、不足している専門職の教職員の増員及び校舎等の整備や改修を計画的に実施し、教育環境の充実を図るとともに、教育力の向上と人間性豊かな教育の実現に努めてまいります。

また、市民の健康寿命の延伸に向け、一人ひとりが主体的に健康づくりを実践するまちづくりを進めるため、「食」「運動」「地域」を核とした、更なる取組を展開してまいります。

具体的には、大学や民間事業者との連携による専門的な筋力

トレーニング教室やウォーキングの推進のほか、地区保健推進員による減塩の普及推進活動等を進めるとともに、自身の健康状態を把握する大切な機会として、検診を受診しやすい環境を整備し、疾病の重症化予防対策の充実を図ってまいります。

さらに、新型コロナウイルス感染症をはじめ、新たな感染症の出現による市民の健康危機発生時には、速やかな対応が図られるよう引き続き体制の整備に努めてまいります。

次に、「成田空港と共に成長」についてです。

成田国際空港は、1978年の開港以降、空港関連の就業者や事業所等が進出したことにより発展を成し遂げてきましたが、今後、成田空港の施設や第三滑走路の拡充整備など、空港の更なる機能強化により、空港への需要がますます高まることが予想されます。

空港へのアクセス強化のための成田空港西側から酒々井インターチェンジまでの道路の直結化については、千葉県との協議を重ねてまいりましたが、今後は具体策について早期に打ち出せるよう、更に協議を加速してまいります。

また、成田市隣接エリアやインターチェンジ周辺エリアなどを、市街化調整区域の規制緩和策により、新たな産業集積用地等の確保と企業誘致の積極的な展開を行えるよう、地域との連携を図り、早期の候補地の選定を進めてまいります。

さらに、42年ぶりの大幅な市街化区域の用途の変更に伴い、既に一部の地区では立地が進んでいますが、今後は既存市街地の再編の時期を迎えていくことから、円滑な再編も踏まえ、更なる土地利用の促進に努めてまいります。

七栄新木戸土地区画整理事業及び日吉台に通じる道路については、多くの市民が、都市計画道路3・4・20号の完成を待ち望んでおり、特に日吉倉地区においては、事業地への転換と合わせ、関係者との協議も一歩ずつ深まってきています。今後も誠意ある対応に努めるとともに、七栄新木戸土地区画整理事業も完成に向け加速することで、成田空港の機能拡大に伴う波及効果を取り込み、新たに企業が進出するための事業候補地の創出などを進めることで、賑わい拠点の形成から富里インターチェンジから国道51号への回遊空間の創出へと、その効果を更に拡大してまいります。

次に、「地場産業が礎」についてです。

市の基盤産業としての農業は、農業従事者の高齢化や減少により、新たな耕作放棄地が発生しているほか、農業技術や経営の承継が懸念されています。そこで、農業後継者の育成、新規就農希望者の支援、地域の中心となる担い手の育成及び農地の集積・集約化が必要となるとともに、何よりも、「スイカ」と「ニンジン」のPRから、更に高品質で安全・安心な農作物の産地として

「富里農業」そのものへのブランド化を加速させることにより、他の地域との差別化を図り儲かる農業の実現を目指します。

イノシシ等の有害鳥獣につきましても、農地等に頻繁に出没するなど、全国的にも大きな問題となっており、近年では、農村集落や市街地などにも出没し、住民の生命・身体、あるいは財産への影響も懸念されています。

富里市では、既に有害鳥獣被害防止対策協議会を設置し、生産者、JA、市が連携を密にし、迅速かつ適切に対応してまいりましたが、今後は市域全体への体制整備を加速するとともに、本市に隣接する市町との広域的な連携強化に努め、支援の拡充を図ってまいります。

また、商工業の振興については、成田空港に近い立地条件をいかし、市内消費並びに商圈の拡大に向けた発信力の強化を図ることで、小規模事業者も含め市内での事業展開の拡充並びに安定化に向けた取組を強化してまいります。

さらに、意欲ある方々が本市を選び、不安なく事業を開始できるよう、充実した支援により後押しを行うとともに、円滑な事業承継への支援にも努めるなど、富里市の農業・商業・工業を守り育てる施策を積極的に展開してまいります。

最後に、「次代に魅力」についてです。

近年、世界の平均気温の上昇や局地的な豪雨災害など、世界的

にも地球温暖化が進んでおり、温室効果ガスの削減に向けて、脱炭素社会への取組が急務となってきています。

国の2050年の脱炭素社会の実現を見据え、二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロ・カーボンシティ」の実現を目指すとともに、防災の取組を平常時にも役立てるフェーズフリーなまちづくりを推進してまいります。

また、令和4年度に末廣別邸公園の公開と合わせ、末廣農場がオープンしたことから、富里の農、自然、歴史、文化などについて、ガイダンススペースなどを利用した各種ポスター展や、市民が参加するイベントの開催など、「着地型観光の窓口」としての第一歩を踏み出したところです。

今後は、多くの市民や関係者自身が参加する中で、各種イベントの積極的な展開とあわせ、本市の特徴を打ち出した、馬との触れ合い体験や、各種農産物をいかした収穫体験、また、市民活動団体との連携による里山散策体験や、各種飲食店との連携によるグルメツアーを企画するなど、見る観光から、地域を楽しむ観光、そして、地域の人々と触れ合う観光、地域固有の生活や産業を体験する観光など、他の自治体にはない特徴ある活用を求めてまいります。

また、新たな資源の発掘に努めることはもとより、近隣市町や空港圏との施設連携による広域的な魅力の発信など共存を図ることや、市公式ホームページやSNS、とみさとファンクラブ等を通じて周知するなど、関係人口の創出に努めてまいります。

森林の再生と保全につきましては、台風被害等による倒木や適正管理ができずに荒廃している森林があることから、市独自の「富里市森林再生プラン」の更なる推進により、森林の有する多目的機能が発揮できる森林への再生を加速してまいります。

さらに、本市は、千葉県内で総人口に占める外国人の割合が第1位であり、様々な国や地域から、言語や生活習慣の異なる人々が集まり生活しているといった特性を有しています。そこで、国籍の異なる市民が互いの文化・生活習慣等を理解・尊重し、外国人住民が地域の一員として共に生活できる多文化共生社会を実現するため、新たに「富里市多文化共生推進本部」を設置したところであり、今後は、令和5年度を目途に「富里市多文化共生推進プラン」を策定し、多文化共生のまちづくりを目指してまいります。

以上、今後の市政運営に関する所信の一端を申し述べさせていただきましたが、私は、富里市職員、富里市議会議員、千葉県議会議員並びに富里市長として培った経験とつながりを更なる力とし、富里市を前へと進めていくために、常に全力疾走で各施策に取り組んでまいります。

また、市政の課題の実情を把握するため、引き続き積極的に現場に赴き、自分の目で確かめ地域の課題解決に努めるとともに、「まちかど市長室」をはじめ、何よりも一人でも多くの市民の皆様との会話の機会を増やすことで、行政経営への反映はもとよ

り、透明性のある行政に努めてまいります。

さらには、国・千葉県・近隣自治体をはじめ、成田国際空港や企業等との関係を一層強めるとともに、本市の姿勢を明確に示すことで、新たな時代の市政発展へつなげていく覚悟でありますので、どうか市議会議員の皆様、そして、市民の皆様におかれましては、格段の御支援、御協力を賜りますよう、心からお願いを申し上げます、所信表明とさせていただきます。

何とぞ、よろしくお願い申し上げます。